

# 医療福祉・在宅看取りの地域創造会議 通信 第16号 (H26/9/17)



平素は、「医療福祉・在宅看取りの地域創造会議」へのご理解・ご協力ありがとうございます。  
澄みきった青空に白いうろこ雲を目にする季節、そろそろ秋の始まりですね。

9月8日は中秋の名月でした。中秋の名月とは旧暦8月15日の夜を照らす満月で古来から観月の好時節（絶好期）とされ、月下に酒宴を張り・詩歌を詠じ・すすきを飾り、月見団子・里芋・枝豆・栗などを盛って、神酒を備え月を眺めて楽しんでと言われていたそうです。（はてなダイアリーより）  
香港では人々は月餅を買う他、サトイモやスターフルーツやヒシを買ってお祝いをし近年では様々な新式月餅が起り、特に冰皮月餅（アイス月餅）が流行しているそうです。（ウィキペディアより）  
ちなみに来年は9月27日です♪



## 第29回ワーキング会議(9/11) 意見交換会より

高島の高齢化の状況は2025年の滋賀県の姿と言われている。高島市での人口減少・高齢化への対応をしっかりと進めることが2025年の滋賀の姿を見据えたときにモデルとなるのかもしれない。



昨年の県民フォーラムの看取り劇場を一緒に観た友人が自分も家で看取れるのでは・・・と思ったと言われた。自分でできること＝地域でのサロン開催につながった。

リーダーの存在が大切。自覚者の集まりの力は大きい。

高島の在宅死の49%が孤独死は驚いた。独居の孤独死は地域もガックリくる。見守り会議で気持ちを支える。自治会や周囲の人の協力があってこそ。そこに専門職が乗っていくことが大事ではないか？



今までは在宅療養になってからの地域づくりがテーマだったが、高島のように要支援、介護になる前からの取り組みが大事。真似できるものでなく地域性にもよるのかもしれない。

見守り会議のような情報共有では守秘義務の取り扱いが課題。行政側から情報提供しにくい部分もある。

見守り会議の組織化のきっかけ。「見守りネットワークしませんか」自治会に交付金 H23 14 自治会→ H26 74 自治会 と増加。地域の役員さんが広めてくれた。福祉推進委員さんが来年もと続けてくださった。おせっかい活動から専門職の参加へ。会議に多職種が集まった。

見守り活動は、一人での対応は限られているが組織として取り組みれば円滑に進めることができる。大切なことは情報交換である。

見守り訪問型(気になる人を定期的に訪問)では家の中に入ってくるのを拒否する人もいるので居場所強化型(サロン+ワンコインカフェ)があることにより孤立を防げていけるのではないかと期待したい。

地域での見守り活動が今後地域で看取ることに繋がらないかと期待したい。



▽▲▽次第▽▲▽

- ★あいさつ・報告・連絡事項
- ★情報提供
- ★内容 活動紹介「住み慣れた地域で暮らし続けるために～高島市での介護者の会と社会福祉協議会の取り組み～」  
高島市社会福祉協議会地域福祉課  
三反田ひとみさん  
高島市介護者の会 地村 喜代子さん  
意見交換：「活動内容からの学び」  
「今後の活動の発展に向けて、どのような視点を持ち、工夫していけるとよいかを考えよう！」

## 次回ワーキング会議予定

10月9日(木) 18時30分～  
場所は滋賀県庁です。

## 三日月知事参加予定

詳細はメールリストで追ってお知らせします。

初めての方で参加をご希望される方は、開催前日までにご連絡ください。

医療福祉・在宅看取りの地域創造会議事務局  
(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

TEL077-528-3581

FAX077-528-4851

e-mail info@chiikisouzoukaigi-shiga.jp

山本・橋本

## 「滋賀の医療福祉を守り育てる」県民フォーラム

とき 平成26年11月15日(土) 13:00～16:30

ところ 野洲文化小劇場

記念講演 タレント・作家 遙 洋子さん

「脱!介護神話～認知症の父と過ごした日々。あなたと私の笑顔のために～」

創作落語

エンディングノートに関するお楽しみクイズ

ほか

★詳細は間もなくチラシでお知らせします。